

平成28年度 第1回 山梨県立美術館協議会 会議結果記録

日 時： 平成28年10月4日(火) 午後2時～3時40分

場 所： 県立美術館講堂

参加者：

委員 塩島明美、向山富士雄、古屋知子、手塚義彦、野口英一、飯野奈津子、  
笹本禮子、日比野理津子、渡辺弥生、野中るみ子、斉木邦彦  
県教育委員会 宮澤教育次長、小澤学術文化財課長、原学術文化財課主事  
県立美術館 白石館長、上島副館長、大関総務課長、井澤学芸課長  
望月総務担当リーダー、平林学芸担当リーダー、高野普及担当リー  
ダー、五味普及担当主査・教育主事  
指定管理者 岩野SPSやまなし支配人、金原SPSやまなし副支配人

議事

- 1 平成27年度事業報告等について
- 2 平成28年度事業報告及び予定等について
- 3 入館者増に向けた取り組みについて  
入館者目標の設定  
目標達成に向けた今後の取り組み方針
- 4 その他

司会 上島副館長

議事録

委嘱状交付

県教育委員会教育次長挨拶

館長挨拶

会長、副館長選任

山梨県附属機関の設置に関する条例の規定に基づき、委員の互選により、古屋知子委員を会長に、高野孫左衛門委員を副会長に決定。

会長挨拶

事務局職員紹介

議事（議長は規定により会長が務めた）

事務局から会議資料により、議事1～2を説明

前回協議会（平成 28 年 2 月 12 日開催）において審議継続となった、美術館通りの銀杏の実の取扱について、以下のとおり、指定管理者から報告。

- ・造園業者に相談し、平成 28 年 8～9 月にギンナンの実を手作業で摘み取った。
- ・利用者からの意見、樹木への影響など、結果について今後検証していきたい。

会長

ただいま、事務局から、議事の（１）（２）あわせて銀杏の実の扱いについて説明がありました。質問、意見などありましたらお願いします。

B 委員

社会教育の立場から質問があります。障害者の美術館への来館についてですが、聴覚障害者、身体障害者については、バリアフリー化を進めていただいておりますが、視覚障害者については、作品鑑賞は難しいと思います。県立美術館では、点字による作品鑑賞を実施していると聞きましたが、具体的に教えてください。

事務局

ミレー館の前に、「手で見るミレー」という指で触って、絵画の構図等を確認できる教材を設置しています。本日の資料の「平成 27 年度 山梨県立美術館年報」の 92 頁に説明があります。これは貸し出し用のものもあります。

県立博物館でも大学の協力を得て同様のものを制作しています。この他にも当館では、昨年度のキュレーターズアイの事業で、作家に依頼して、手で見る彫刻を作成しました。これは、実技講座で彫刻の作成を指導した後に、完成した作品を手で触って形が分かるようにしたものです。このような取り組みは今後も更に実施していく必要があると考えています。

会長

その他に意見があるでしょうか。

M 委員

ギンナンの実の摘み取りを実施したのは、お客様から臭いとか苦情があったからでしょうか。

事務局

そのような意見もありますし、ギンナンの実を拾うことを楽しみにしているという声もあります。今回、実を撤去したのは、前回のこの協議会で意見があったことを受けたものです。多くの銀杏の樹があるので、非常の沢山の実が落ちます。それを減ら

する必要もあると考えたことであり、結果については今後検証します。

館長

今回の対応は、前回の協議会で、多くの実が落ちて、臭ったり滑ったりの問題があるので、どうにかならないかという意見が出たことを受けたものです。美術館にとって銀杏の樹は大切なものですから、どこまでやるかというバランスを見極めるのは難しいことです。また、全くきれいにするというのも技術的には無理ですし、今回はとりあえず指定管理者の方で、一部を摘み取ったということで、どこまでやるべきかは、今回の結果を精査したいと考えています。

会長

その他に意見があるでしょうか。

では、議題1, 2については承認されたものとして、次の「3 入館者増に向けた取り組み」について、この議題が追加された理由も含めて、事務局から説明してください。

事務局

《以下の内容を説明》

- ・事前の資料等送付後に議題が1つ追加となり、混乱させて申し訳ない。
- ・「入館者増に向けた取り組み」は、これまでも盛んに議論されてきた永遠のテーマ。
- ・これを今回あえて議題のテーマとした理由は次のとおり。
- ・資料7頁のとおり、美術館展示企画の入館者は長期低落傾向。
- ・来年度の予算編成に手を付ける時期となり、教育委員会の中でも問題視されている。
- ・文化施設といえども、入館料の増加を図る経営的な視点も必要との指摘がある。
- ・美術館は展覧会だけではないが、昨年12月策定の「ダイナミックやまなし総合計画」に、教育普及事業に関しては、参加者を5年間で5%増と計画済み。
- ・そこで、今回、協議会の委員が改選となる時期に、展示場入場者増を図ることを、改めて大きな課題として取り上げた。
- ・資料20頁をご覧いただきたい。
- ・目標値は、教育委員会で定めた。知事にも説明済み。美術館だけでなく博物館、考古博物館、文学館も設定。
- ・平年ベースの概ね1割増として来年度から取り組んでいく
- ・新たな施策、新規事業、予算対応が困難であり、既存の取り組みを、にまとめたい。これらに関する意見、他に有効なものがあれば提案をいただきたい。

会長

ただいまの説明に対して意見があるでしょうか。

L 委員

親しみやすい美術館、魅力のある美術館を作りたいということであれば、よい展覧会を企画するというだけでなく、美術に興味が無い人にも来てもらう、県外の親戚を連れ来るとか、知り合いを連れてきたくなるということだと思えます。

この美術館は公園があって、そこで寝そべったり、お弁当を食べたりいろいろできるので、魅力というのがどこまで提案すべきか分からないと思えます。

昨年度の展示会に「命をめぐる物語」がありました。チラシが暗いイメージで、どうかと思いましたが、見てみるとすごくよかったです。この前の「美し、やまなし、パワー！」も内容はとてもよかったです。ポスター・チラシが地味で、一般の人が見に来たくなるか疑問でした。

美術館というのは、単に目で見ただけでなく、体で感じる、風や臭い、五感で感じるものだと思います。この美術館はそれが少ないように思います。これをもっと増やすことを提案したいと思えますが、どこまでできるのかということを示していただきたいと思えます。

会長

協力会のメンバーとして活動している方ならではの御意見だと思います。事務局いかがでしょうか。

館長

貴重な御意見ありがとうございました。我々が思っていることをそのままおっしゃっていただきたいと思います。

美術館は美術作品の鑑賞が基本ですが、この美術館は公園の中にあり、他とは少し違います。美術にあまり興味が無い人も来なくなる、そういう人を連れてきたくなるということが大切だと思います。美術館というのは非日常の雰囲気を感じさせてくれるのが大きな役割であって、かしこまってではなく、公園に来たついでにミレーの絵を見て行こうとか、ロビーに来るだけでもいい、レストランに寄って行こうとか感じていただきたいと思えます。

どこまで言っているのかということですが、委員の皆様は、こんなことまで言っているのかと気にされると思いますが、できないことも、もちろんありますが、それができるかは、次のステップだと思いますので、お気づきのことは、どんどん言っていただきたいと思えます。

## L 委員

この美術館は、年配の方は無料で、みな喜んでいますが、年配の方が困っていることに、駐車場からの距離が遠いことがあります。無料なのはいいのですが、希望する人からは寄付金をいただいて、途中にベンチを設置するとか、日よけの屋根をつけるとかできないのでしょうか。

## 館長

駐車場の問題は、この美術館の一番のウィークポイントです。公共交通機関が不便で、委員の皆様も自家用車で来られていると思いますが、なるべくバス等で来ていただければありがたいです。

ベンチのことはどうしたものかと思いますが、屋根については、この公園は樹木が豊富であることが魅力なので、屋根の設置はそれと相容れないとも思います。ご提案として受けとめて検討したいと思います。

## C 委員

入館者増というのは、入館者をどのように捉えるかですが、先ほど館長がおっしゃったような、いろいろな目的でこの館に来る方を全体で捉えるなら、この館の取り組みは100点満点至れり尽くせりだと思います。

入館料収入が増えないと言いますが、65歳以上は無料では無理な話です。今日は山梨日日新聞社の社長さんもいらっしゃいますが、県立美術館のような施設での展覧会では、新聞社などの企業の資本に頼ることもあります。しかし、入館料が減ると企業は離れてしまいます。入館料を増やす確実な方法は、東京の六本木の美術館のように大きな資本を投入してルーブル美術館展のような大がかりな展覧会を企画して、大々的に宣伝すれば間違いなく増えます。それだけの度胸は難しいのですが、学芸員も神様ではないので、本当に多くの人に来てくれるのかやってみないと分からないのです。

知事が入館者を増やせと言うのも分かりますが、県民の入館者が観光客なのか、観光客ならば、大資本の大展覧会をやればいい、県民ということであれば、今もやっている、教育普及事業や障害者への配慮などが重要ですが、それらが地方の美術館が生き延びる道だと思います。

ただ増やせと言っても、人口は減っているし、山梨の人口は世田谷区と一緒にです。それで何万人も増やせと言っても無理な話なので、館長のおっしゃるとおり、県民のための美術館に立ち戻って、利用者の満足度を調査してはどうでしょうか。その数字がよければ、いろいろと言われることもないと思います。

県立美術館は県外からミレー作品を見に来る方が、割合としては多いと思いますから、そこをもっと伸ばすなら、旅行エージェントと組んで割引をもっとするなり、公

設館だからできないではなく、そこまで踏み込まないと効果はでないと思います。

関東の公設美術館の方と会議で話をしますが、山梨は入館者、事業内容、予算も抜群にいいです。これは、この美術館が、いろいろな魅力作りの取り組みをしているからで、これ以上何をすればとも思います。

今日は学術文化財課の課長さんもいますが、65歳以上は無料ではなく、東京のように割り引きをして入館料をとるべきだと思います。常設展は県外も無料ですが、その必要はないと思います。やめることで入館料増収につながると思います。

先日の報道でリニアの見学施設の入館者が県立美術館を超えたと言っていました。美術館の有料入館者の数字との比較であって、他のいろいろな事業での入館者を含めていないのは正しくないと思いました。県職員の時には言えなかったことをみんな言ってしまったので長くなってすみませんでした。

会長

素晴らしい御意見だと思います。事務局いかがでしょうか

学術文化財課長

入館者目標を設定したのは、これをクリアするのが目的ですが、美術館以外の、博物館、考古博物館、文学館も同様に、このような目標を設定してもらいたかったという考えがあります。目標を定めて達成できなければ、何が悪かったのか、何を直すべきかを考える必要があると思います。

入館者を増やすためには、先ほどからいろいろな考えが出ていますが、この美術館は、県民の知識及び教養の向上が設置目的でありますので、県民に利用していただくのが一番と思います。もう一方で時代の要請といいますが、2020年の東京オリンピックを見据え、外国人観光客へのアピール、県外へのアピールも必要と考えます。

65歳以上の入館料無料は平成7年から始まりました。何度か70歳に引き上げてはと議論もありましたが、県民高齢者の生涯学習の機会を広げるという観点から今も継続しているわけです。入館料収入増のため65歳以上を有料というの分かりますが、現在のところそこまで議論が進んでいないことにご理解いただきたいと思います。

会長

その他に意見があるでしょうか。

では、議題3については承認されたものとして、次の「4 その他」ですが。事務局から何かあるでしょうか。

副館長

特にありません。

会長

委員の皆様はどうでしょうか。

K委員

私は、協力会ボランティアとして日曜日を担当していますが、県内の入館者からの苦情で一番多いのは、レストランのことで、何度も言われていると思いますので、是正していただきたいと思います。

それと、車いすのことですが、今は駐車場に2台置いてありますが、家族での来館の場合、裏の駐車場（第2駐車場）を利用できる旨を説明した案内をしているのでしょうか。第1駐車場を利用されている場合、家族が車いすを館まで返しに来るのが大変ということで、ボランティアが着いていって、車いすを回収することがありますが遠いと言われることがあります。

事務局

車いす利用者に関しては、事前にご連絡いただければ、第2駐車場に駐車スペースを確保しております。利便性向上のために何かよい方法がないか、協力会の皆様とも相談したいと思います。

レストランについて、利用者から御意見があることは承知しています。月に1度、桔梗屋の担当者と会議を行い情報を共有していますので、必要な改善を図って行きたいと考えております。

会長

S P Sさんよろしく申し上げます。他にどうでしょうか。

L委員

レストランへの苦情が何回もでてるのは、改善していないということではないでしょうか。この美術館のレストランということは、ミレーらしい特徴が必要だと思います。ミレーはフランスの田舎に住んでいたのも、そのような感じがでるようなメニューを考えるべきだと思います。山梨には、果物とか野菜のソムリエとかいう人いるので、そのような人に知恵を聞くとかアイデアを募集するとか、姿勢を見せることが重要で、できるかできないかは別で、そのような姿勢が見えれば、私たちは支持できます。

外のテラスを日光が遮るようにして、一人で美術館に来てお茶をするときに静かなスペースを提供するとか、ミレーのブドウの実を抽選で食べられるとか、いろいろとできることは沢山あるので、何かなにか考えていただきたいと思います。

事務局

貴重な御意見として検討させていただきます。

会長

他にどうでしょうか。

M委員

公共交通機関が不便という話がありましたが、イオンモールは甲府駅とのバスの便がよいようです。私はバスを使っていませんが、県外から一人でいらっしゃる方はタクシー代の負担も大きいので、バスの本数が増やすとか、美術館のチケットの半券でバスが割引になるとかできればよいと思います。

事務局

バスの便数については、ミレー展の様な大きな展覧会の際には、過去に臨時便が出たと聞いています。常時となると山梨交通の事情もあるので困難かと思えます。割引については、観覧料にも関係するので県と相談したいと思えます《記録者註:バス料金の割引に関する意見なので観覧料とは直接の関係はない》。

いずれにしてもアイデアとしては参考になる御意見なので、当方からも提案できないか検討して参ります。

会長

その他に意見等はあるでしょうか。本日は貴重な意見をありがとうございました。今後も美術館がますます良くなるよう、私たちも協力していきたいと思えます。では、これにて議事を終了します。